（様式 5）

2 目標達成計画

事業所名　楽陽荘グループホームちーず
作成日 ：　平成 22 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	利用者の半数が紙おむつ・紙パンツを使用されている。が、個々の排泄パターンを充分把握できていない。	利用者お一人おひとりの排泄リズムを知り、できるだけ、紙おむつを使用しない生活が送れるれるように支援する。	利用者の排泄記録を行って個々の排泄パターンを把握することで、自立支援に向けての取り組みを行う。	12ヶ月
2	40	食事時、職員が利用者と共に食事をしているが、会話が乏しく楽しい雰囲気での食事になってない場面がある。	職員は利用者の傍で食事をしながら利用者に食事内容についてなど声を掛けて、利用者との会話を楽しみながら良い雰囲気の中で食事を行う。	食事中職員は利用者に声を掛けたり、介助などの支援をしながら利用者と共に楽しい雰囲気のなかで食事が出来るように取り組みを行う。	6ヶ月
3	20	利用者の入所以前の友人、近隣との繋がり、また、なじみの場所との関係が今後も途切れないように継続して工夫していく。	本人がこれまで大切にされてきた友人や知人が、再度訪問しやすい雰囲気づくりを行う。また、なじみの場所へは、個別に同行するような支援を行う。	利用者の友人や知人が訪問された時は、利用者と共に訪問してくれた事に対して感謝を述べると共に態度でも示す。 なじみの場所への訪問は利用者の誕生日の企画の一つとして取り組みを行う。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。